



平成 21 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 レ シ ッ プ 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役  
社 長 執 行 役 員 杉 本 眞  
(コード番号：7213 東証・名証第二部)  
問 合 せ 先 取 締 役  
常 務 執 行 役 員 山 口 芳 典  
(電話番号：058-323-7647)

### 平成 21 年 3 月期 業績予想の修正及び減損損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 21 年 2 月 9 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 21 年 3 月期 業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

##### (1) 連結業績予想数値 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	17,570	1,230	1,220	690	107 円 97 銭
今回修正予想 (B)	16,933	1,084	1,118	534	83 円 56 銭
増減額 (B-A)	△637	△146	△102	△156	—
増減率 (%)	△3.6	△11.9	△8.4	△22.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	18,511	1,232	1,208	686	107 円 38 銭

##### (2) 個別業績予想数値 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	16,000	1,035	1,100	440	68 円 85 銭
今回修正予想 (B)	15,313	1,121	1,177	401	62 円 75 銭
増減額 (B-A)	△687	86	77	△39	—
増減率 (%)	△4.3	8.3	7.0	△8.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	16,558	1,160	1,190	584	91 円 53 銭

## 2. 業績予想の修正理由

### (1) 連結業績予想

世界的な景気の後退が進むなか、主力の輸送機器事業においてはバス用 IC カードシステムや運賃箱などの納入が進み、同事業の業績は堅調に推移いたしました。一方、S&D事業においては、ネオンサイン市場の需要低迷により、国内及び米国の巻線式ネオン変圧器の販売台数が落ち込むなかで、屋外蛍光灯看板用電子安定器などの新規製品の拡販が遅れたことが要因となり、売上高は見込みを下回ることとなりました。また、産業機器事業においても、物販共用読み取り端末が前年の大幅増から反動減したことに加え、流通業界における新規出店の手控えなどが影響し、売上高は見込みを下回ったほか、連結子会社でありますレシップ電子株式会社におけるプリント基板の実装においても、自動車用電装品向けの基板を中心に市場が急激に冷え込む状況となりました。

併せて、S&D事業におけるレシップ株式会社の固定資産に対し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、連結・個別ともに減損損失 91 百万円を計上いたします。(3 をご参照)

この結果、売上高は 16,933 百万円 (前回発表予想比 3.6%減)、営業利益は 1,084 百万円 (同比 11.9%減)、経常利益は 1,118 百万円 (同比 8.4%減)、当期純利益は 534 百万円 (同比 22.6%減) となる見込みであります。

### (2) 個別業績予想

売上高につきましては、連結業績予想と同様の修正理由によるものです。また、損益につきましては、原価低減活動・経費削減活動が奏功し、営業利益及び経常利益は前回発表予想から増加する見込みとなりましたが、減損損失を計上いたしますことから当期純利益は同予想から減少する見込みであります。

## 3. 減損損失の計上理由

S&D事業に係る固定資産について、投資額に対する将来の回収可能性を精査いたしました結果、レシップ株式会社が所有する同事業に係る固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減損処理することとなり、連結・個別ともに 91 百万円の減損損失を計上することといたしました。

S&D事業におきましては、主力の巻線式ネオン変圧器に使用する銅などの原材料価格の下落や、同製品の生産拠点のあるタイ国の基軸通貨であるバーツが下落するなど、一部に外部環境の改善が見られますものの、ネオンサイン市場が縮小傾向にあることに加え、引き続き景気の低迷が予想されるなか、急速な業績の回復は困難な状況にあると判断されますことから、当該固定資産の減損損失を計上することとしたものであります。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上